



今年の抱負：さくら組

東部こども園だより

令和3年 新春号 発行責任者：園長 小山田容子

あけましておめでとうございます

昨年は、コロナウイルス感染症が拡大し、これまでの生活様式が大きく変わった年でした。誰しもがまさかこんな時代が来るとは想像していなかったでしょう。今年は、安心して過ごせる年になるように願うばかりです。

さて、今年は丑年です。十二支の動物の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑（牛）の年は、先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。十二支の2番目の干支であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされ、結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期とされます。また、仏教が生まれたインドでは牛は神様として大切にされています。牛には神に近い尊いイメージがあるようです。2021年は”神に近い”とされる牛が干支ということであれば縁起の良い年になることを期待し、今年も子どもたち一人が、心も体も豊かに、健やかに、そしてのびやかに成長していけるような一年にしたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。



牛みたいに強くなりたい
(りょうた)



絵が上手になりたい (つむぎ)



勉強を頑張りたい
(ゆいと)



学校まで歩いて行くのを
頑張りたい (なぎさ)

丑年にあって各クラスの抱負

◆つくし組

0歳児：歩行が安定しいろいろな所まで行き、探索遊びをたっぷり楽しんでいます。絵本を見るのが好きで、指差しや真似っこで声を出している子どもたちです。今年もお友達や先生とたくさん遊び、楽しく過ごしていきます。

1歳児：お友達との関わりが少しずつ増え、お友達の名前を呼び合う姿が見られるようになりました。またブロック遊びや絵本が好きで絵本の真似をして楽しんでいます。今年も子どもたちの意欲を大切にしながら、寒さに負けずに元気一杯に子どもたちと遊びを楽しんでいきます。

◆すみれ組

お友達とのやり取りを楽しみながらごっこ遊びをしたり、手作り楽器を使い曲に合わせて音楽遊びを楽しんだりしています。衣服の着脱やトイレも「自分でする」と頑張っており「できたよ。見て。」と嬉しそうなお友達もたちです。ちゅうりっぷ組へ進級することへの期待を高めながら、今年も元気一杯過ごしていきます

◆ちゅうりっぷ組

園の様々な活動に「やったー！」ととても意欲的な姿がいつも見られるちゅうりっぷ組の子どもたちです。たんぼぼ組へ進級することを楽しみにし、日々を大切にそして楽しく過ごしていきます。

◆たんぼぼ組

お友達と沢山の遊びを楽しみ、運動会や発表会など様々な事にも挑戦したたんぼぼ組の子ども達です。さくら組への期待をふくらませながら、みんな仲良く元気一杯に過ごしていきます。

◆さくら組

今年は、例年とはちょっと違った形で行事を楽しんできたさくら組の子どもたちですが、そんな中でもたくさんの成長を見せてくれました。特に、運動会や発表会などの経験を通し自信が付き、ひとまわり大きく成長しました。今年はいよいよ1年生、小学校への期待を膨らませながら園での思い出をたくさん作って楽しく過ごしていきます。

◆給食室 安心安全を第一に、子どもたちが心も体も元気になれる給食を作っていきます。

